

SDWANテンプレートを使用したvEdgeデバイスパラメータの設定

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

このドキュメントでは、vManageからテンプレートを使用して新しい設定をプッシュする方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- SDWANアーキテクチャに関する基礎知識
- vManageダッシュボードの基礎知識

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

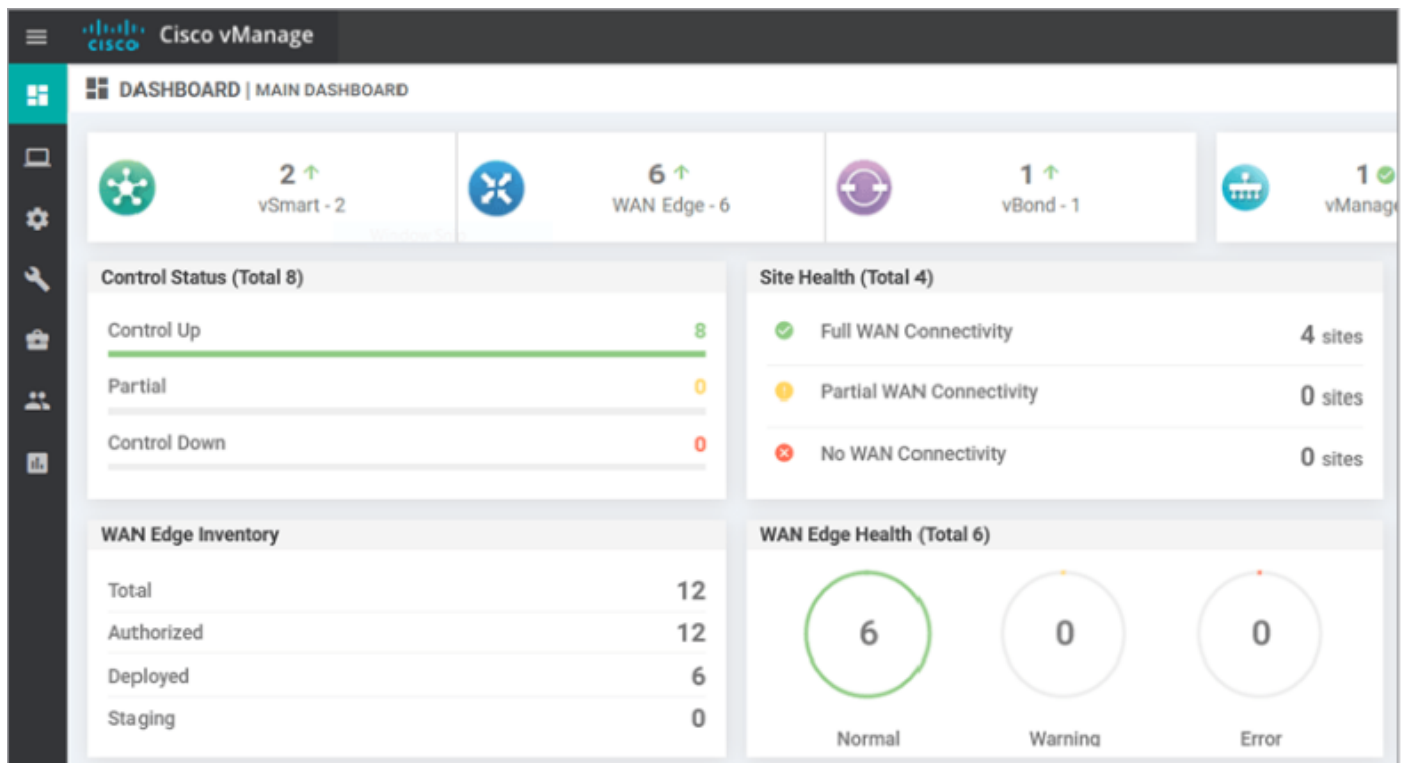
このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

設定

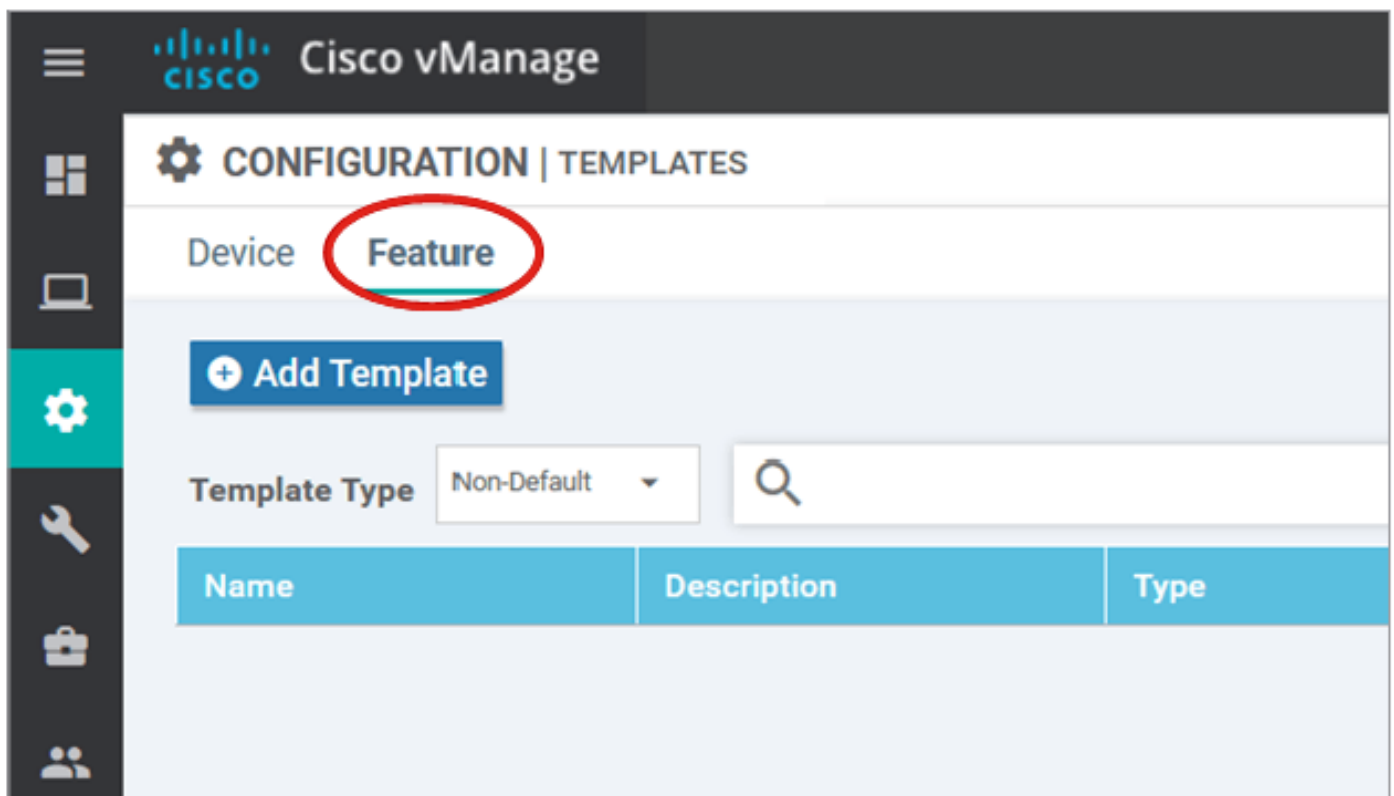
vManageコントローラからvEdgeデバイスの共通パラメータを設定するには、テンプレートを使用できます。

図の例は、機能テンプレートを使用して新しいVPN 20およびループバックインターフェイスを設定し、それをvEdgeデバイスにプッシュする方法を示しています。

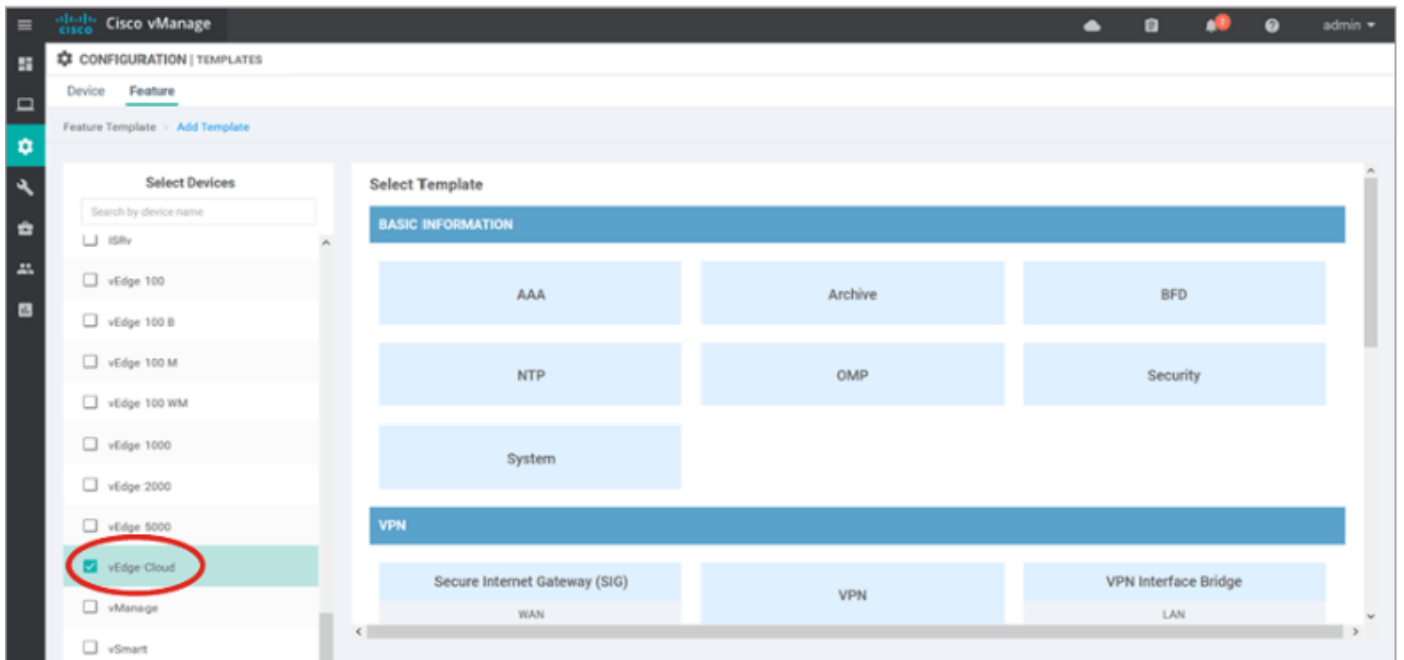
ログイン vManage.SD-WANファブリックには、vSmartコントローラ、WANエッジルータ、vBondオーケストレータ、および1つのvManage Network Management System(NMS)が含まれていることがわかります。



歯車アイコン(コンフィギュレーション)を選択します。テンプレート.ポリシーの横の [レポート (Report)] 機能 tab.



クリック テンプレートの追加 選択します vEdgeクラウド IPアドレスの下の デバイスの選択 オプションを選択し、VPNテンプレートをクリックします。

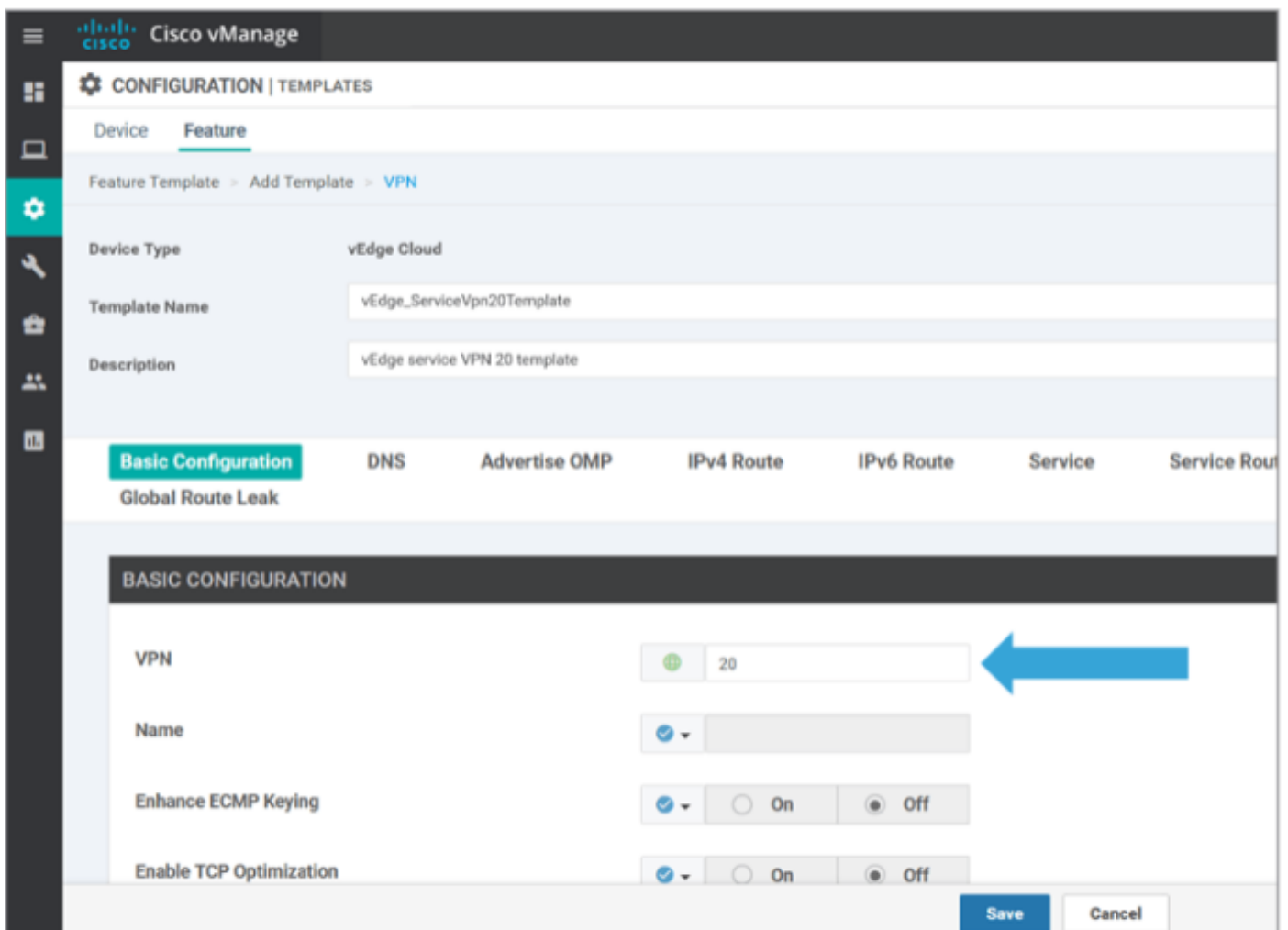


次のテンプレートの詳細を入力します。

テンプレート名 : vEdge_ServiceVpn20Template

説明:vEdge service VPN 20テンプレート

[Basic Configuration]セクションで、[VPN]フィールドに20と入力し、[Save]をクリックします。



[テンプレートの追加]を再度クリックし、[vEdge Cloud]を選択します。[VPN Interface Ethernet]をクリックし、次のパラメータを入力します。

テンプレート名 : vEdge_ServiceVpn20InterfaceTemplate

説明:vEdgeサービスVPN20インターフェイステンプレート

[基本設定]セクションで、次のパラメータを入力します。

シャットダウン (グローバル) :No

インターフェイス名 (グローバル) :loopback20

[IPv4 Configuration]セクションまで下にスクロールして、[IPv4 Address]に[Device Specific]を選択し、[Save]をクリックします。

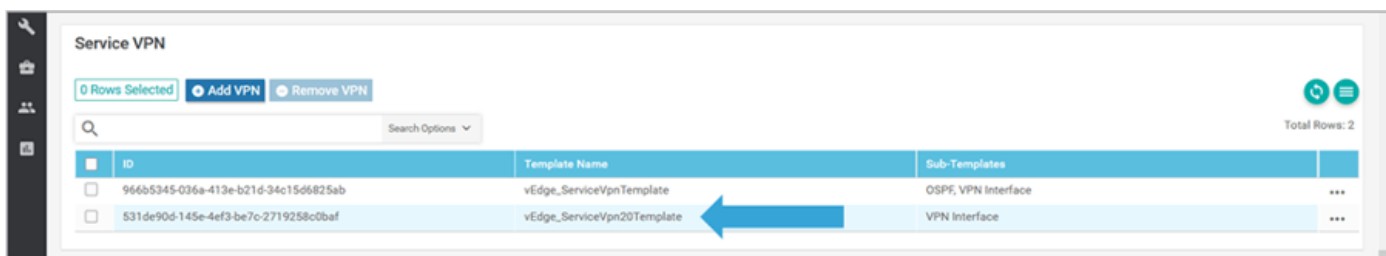
The screenshot shows the Cisco vManage interface for configuring a template. The breadcrumb is "Feature Template > Add Template > VPN Interface Ethernet". The "Device Type" is "vEdge Cloud". The "Template Name" is "vEdge_ServiceVpn20InterfaceTemplate" and the "Description" is "vEdge service VPN 20 interface template". The "Basic Configuration" tab is active, showing "Shutdown" set to "No" and "Interface Name" set to "loopback20". Blue arrows point to these two fields. At the bottom right, there are "IPv4" and "IPv6" tabs, and "Save" and "Cancel" buttons.

This close-up shows the "IPv4" tab selected. It displays radio buttons for "Dynamic" and "Static", with "Static" selected. Below, the "IPv4 Address" field has a dropdown menu with a blue arrow pointing to it, and a placeholder text "[vpn_if_ipv4_address]" to its right.

[デバイス]タブをクリックし、新しいフィーチャテンプレートをvEdgeSite1_DeviceTemplateに次

のように適用します。

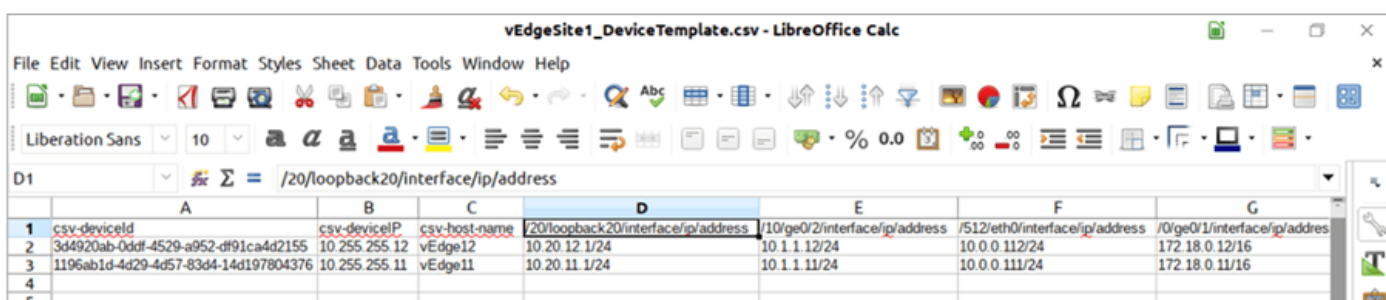
- vEdgeSite1_DeviceTemplateの[その他のオプション(...)]アイコンをクリックし、[編集]を選択します。
 - [Service VPN] > [Add VPN]の順にクリックして、サービスVPNを追加します。
 - 新しいVPN 20テンプレートを選択し、右側のペインに移動します。Next をクリックします。
 - 右側のペインのAdditional VPN Templateセクションの下のVPN Interfaceをクリックします。このプロセスでは、左側のペインに新しい[VPN Interface]フィールドを追加する必要があります。
 - 新しいVPNインターフェイスのドロップダウン矢印をクリックし、[vEdge_ServiceVpn20Interface Template]を選択します。[Add] をクリックします。このプロセスは、サービスVPN 20テンプレート内のサービスVPNオプションに戻ります。
 - [Update] をクリックします。
- [Update] をクリックする前に、新しいサービスVPNがリストに追加されたことを確認できます。



ダウンロード矢印アイコンをクリックして、templatvEdgeSite1_DeviceTemplate.csvfileをダウンロードし、保存します。このファイルは、ジャンプホストのSD-WANフォルダに自動的に保存されます。

ジャンプホストで、SD-WANフォルダを参照し、vEdgeSite1_DeviceTemplate.csvfileを開きます。テンプレートのデバイスのループバック20のIPアドレスを次のように追加します。

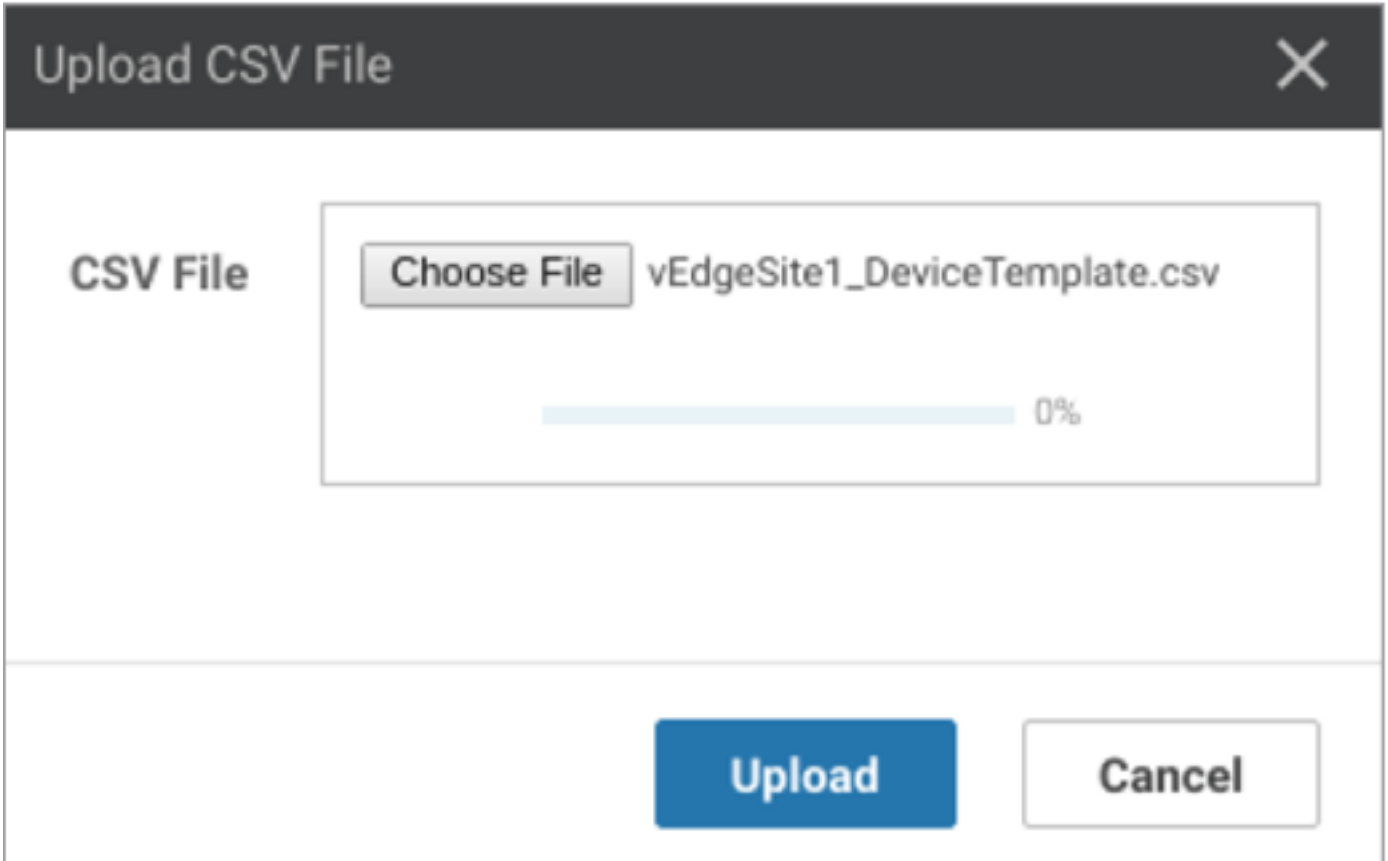
- vEdge11:10.20.11.1/24
- vEdge12:10.20.12.1/24



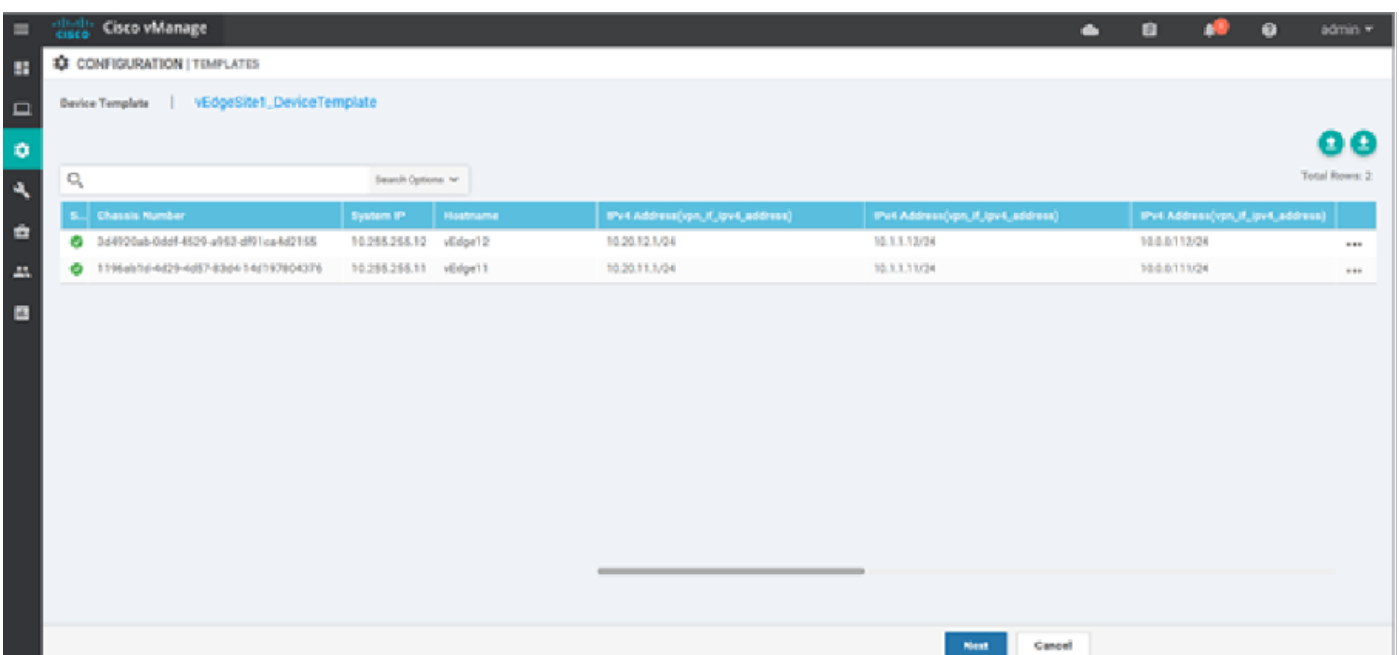
更新された.csvファイルを保存します。

vManageのUploadarrowアイコンをクリックし、vEdgeSite1_DeviceTemplate.csvfileをアップロードします。

CSVファイルの編集集中にvManageがタイムアウトした場合は、前の手順を繰り返して、新しいサービスVPNおよびVPNインターフェイスを再度有効にします。

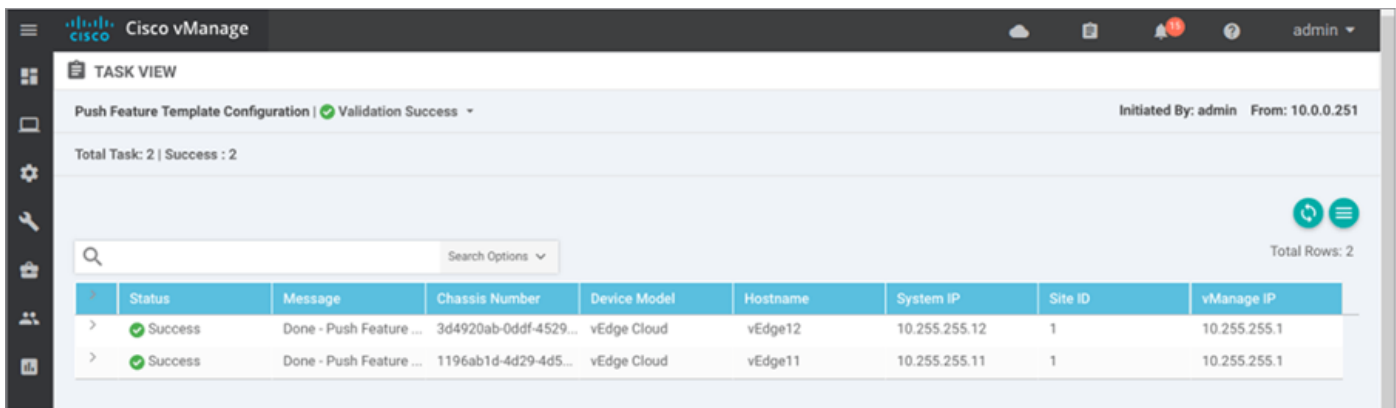


クリック次 設定の変更を導入します。



クリック デバイスの設定 設定の変更を確認します。展開ステータスを監視します。設定はvEdge11とvEdge12にプッシュされます。

vManageに **成功** 両方のデバイスのステータス。

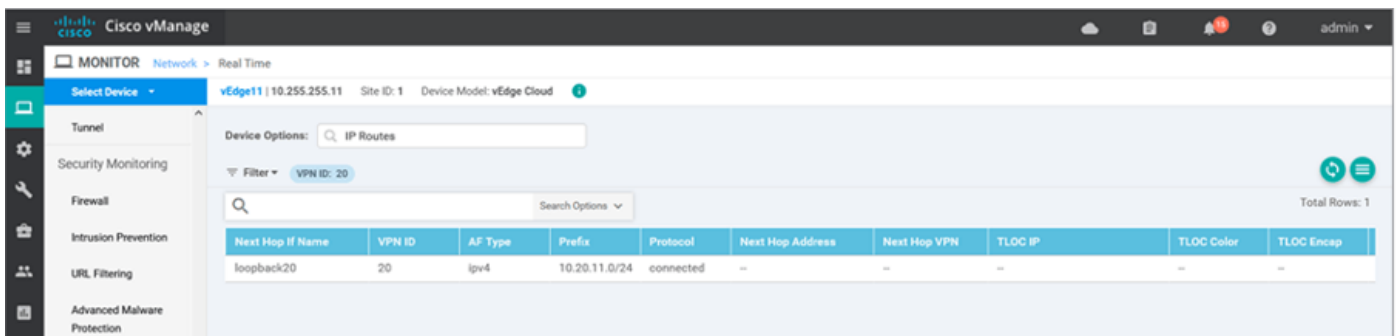


The screenshot shows the Cisco vManage interface. At the top, it says 'Cisco vManage' and 'admin'. Below that, it displays 'TASK VIEW' for a 'Push Feature Template Configuration' task. The task status is 'Validation Success' and was initiated by 'admin' from '10.0.0.251'. It shows 'Total Task: 2 | Success: 2'. A table lists the details of the two tasks:

Status	Message	Chassis Number	Device Model	Hostname	System IP	Site ID	vManage IP
Success	Done - Push Feature ...	3d4920ab-0ddf-4529...	vEdge Cloud	vEdge12	10.255.255.12	1	10.255.255.1
Success	Done - Push Feature ...	1196ab1d-4d29-4d5...	vEdge Cloud	vEdge11	10.255.255.11	1	10.255.255.1

確認

モニタアイコンをクリックし、**Network**.クリック **vEdge11** デバイスのリストから **リアルタイム** 左側のペインの下部にあります。内 **デバイスオプション** フィールド、**選択 IPルート** 選択します **フィルタの表示**.**選択 20 [VPN]**ドロップダウンリストから、**検索.vEdge11**のVPN 20ルーティングテーブルの状態を確認します。これで、ローカルルータ上のVPN 20 Loopback 20インターフェイスだけが表示されます。



The screenshot shows the Cisco vManage 'MONITOR Network > Real Time' view for device 'vEdge11 | 10.255.255.11 | Site ID: 1 | Device Model: vEdge Cloud'. The 'Device Options' are set to 'IP Routes' and the filter is 'VPN ID: 20'. A table displays the IP routes:

Next Hop If Name	VPN ID	AF Type	Prefix	Protocol	Next Hop Address	Next Hop VPN	TLOC IP	TLOC Color	TLOC Encap
loopback20	20	ipv4	10.20.11.0/24	connected	-	-	-	-	-

トラブルシューティング

現在、この構成に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。